



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月15日

上場会社名 株式会社グッドパッチ 上場取引所 東
コード番号 7351 URL <https://goodpatch.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 尚史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 坂口 友紀 (TEL) 03(6416)9238
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	3,847	0.3	329	△35.2	437	△18.1	284	△21.9
2025年8月期第3四半期	3,835	27.8	509	—	534	—	364	—

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 341百万円(△7.1%) 2025年8月期第3四半期 367百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	32.56	32.45
2025年8月期第3四半期	41.38	41.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	5,076	4,405	86.2
2025年8月期	5,245	4,145	78.6

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 4,376百万円 2025年8月期 4,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,600	10.1	560	0.5	632	3.1	409	0.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社Layermate 除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年8月期3Q	9,246,820株	2025年8月期	9,246,620株
② 期末自己株式数	2026年8月期3Q	512,847株	2025年8月期	512,827株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年8月期3Q	8,733,869株	2025年8月期3Q	8,803,695株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士 : 無
又は監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が見られる一方で、米国の政策動向や国際情勢に伴う地政学的リスク、金融資本市場の変動、持続的な円安や物価上昇、個人消費の低迷等の影響により、国内外の経済見通しは依然として不透明な状況が続くと考えられます。

また、デジタルトランスフォーメーション(DX)(注1)やAI(人工知能)の進展により、社会や産業構造は大きな変革期を迎えています。AI市場は今後も持続的な成長が見込まれ、生成AIは単なる「コンテンツ生成ツール」を超え、社会インフラを支える「基盤技術」へと進化しています。マーケティングやデザイン生成、人手不足対応等、生産性向上のあらゆる領域で活用が広がり、実験段階から社会実装フェーズへと移行しております。

こうした環境下、日本企業では、持続的な成長の実現に向けて、先行投資や経営戦略への注力が一層進んでいます。特に、DXやAIの活用による事業革新・業務効率化、新たな企業価値の創出に向けた取り組みが加速しており、加えて、社会課題への対応やステークホルダーとの関係強化を目的に、企業の存在意義やミッションの再構築を行う動きも増加しています。当社グループは、顧客企業の変革を支援すべく、「デザイン×AI」の取り組みを一層加速させています。強みであるUI/UX(注2)を起点に事業領域の拡大を進めるとともに、「AI Driven Design Company」として、AIを活用したサービスの高度化とAI領域への戦略的投資を推進し、日本のデザイン業界におけるリーディングカンパニーとしての地位を確立しつつ、次なる成長フェーズへと歩みを進めてまいります。

主要事業であるデザインパートナー事業においては、当社の強みである戦略デザインやUI/UXデザインと、連結子会社である株式会社スタジオディテイルズの強みである質の高いクリエイティブとブランディングを融合し、顧客企業のさらなる期待に応えられるよう、デザイン支援の提供を行ってまいりました。また、デザインプラットフォーム事業においては、デザイナー人材紹介サービス「ReDesigner」やオンラインホワイトボードツール「Strap」を中心に、デザインパートナー事業で培ったノウハウやブランドを有効活用しながら、事業を推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,847,775千円(前年同期比0.3%増)、営業利益は329,881千円(前年同期比35.2%減)、経常利益は437,899千円(前年同期比18.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は284,352千円(前年同期比21.9%減)となりました。

報告セグメント別の業績の状況は以下のとおりであります。

① デザインパートナー事業

デザインパートナー事業は、顧客企業と当社のデザイナーが一体となりプロジェクト形式で包括的なデザインサービスを提供しております。最初に、サービスやブランド等の新たな価値を創出したい顧客企業とともにプロジェクトチームを立ち上げ、プロジェクトで解決する課題を抽出します。プロジェクトが開始されると、本質的な価値の発見が行われ、顧客企業の独自の強みや特徴が明らかにされます。このフェーズでは、プロジェクトチームが顧客企業と緊密に連携し、価値の源泉を特定し、その価値を洗練するための手段・プロセスの検討が行われます。次に、顧客企業の利用者（ユーザー）を特定し、ユーザーにとって利用しやすいものとなるよう、ユーザーの価値観に合致するデザインが開発されます。このフェーズでは、プロジェクトチームはデザインの詳細な要件を抽出し、ユーザーフィードバックを絶えず取り入れて調整を行います。こうして生み出されたデザインは顧客企業の戦略とブランディング活動に統合され、企業のビジョンと目標に紐づく事業活動に一貫性をもたらしめます。なお、アプリケーションのUI/UXデザイン開発においては、当社のエンジニアリングチームもプロジェクトに参画し、実際のデジタルプロダクトの構築を行うことがあります。これら一連のプロセスを通じて、顧客企業は既存のビジネスプロセスをデジタル化し、イノベーションを促進でき、効率性の向上や新しい価値の提供が可能となります。

近年、DXの進展により企業のデジタル領域における変革ニーズが高まる中、デザインの重要性は一層高まっております。このような環境下において、当事業では顧客企業ごとの課題やニーズに応じた柔軟な提案を行い、ソリューションの幅を拡張するとともに、AI活用を推進することで、高付加価値かつ高効率なアウトプットの提供を通じた業績拡大に取り組んでまいりました。当期においては、AI関連案件の獲得を優先的に進め、ノウハウやナレッジの蓄積を図るとともに、各種デザイン業務におけるAI活用を推進し、スピードとクオリティの両立に取り組んでおります。併せて、社内のAIリテラシー向上を進め、「デザイン×AI」の取り組みを強化しております。

また、事業成長に向けた基盤強化として、デザイナーの採用を積極的に行い、提供リソースであるデザイナー人員の拡充を進め、幅広い業種・業態の顧客企業に対するデザイン支援が可能となっております。さらに、日本国内の正社員デザイン部門及び「Goodpatch Anywhere」との連携を強化し、営業リードの共有、プロジェクトの獲得、デザイナーリソースの相互活用を通じて、事業全体の成長を推進しております。

当第3四半期連結会計期間においては、当社ならびに株式会社スタジオディテイルズ及びGoodpatch Anywhereを含むプロジェクト提供を行った顧客社数(注3)は64.7社（前年同期は63.7社、前年同期比1.6%増）、月額平均顧客単価(注4)は5,821千円（前年同期は6,322千円、前年同期比7.9%減）となりました。大型プロジェクトの継続に加え、営業体制の強化及び外部イベントを含むマーケティング施策を推進した結果、第2四半期の有効商談数が過去最高を更新し、第3四半期の顧客社数は最高水準を維持しました。一方、月額平均顧客単価は、CM制作やサイトリニューアル等のスポット案件の終了及び縮小により、前年同期を下回りました。

また、社内デザイン組織のデザイナー数は、当第3四半期連結会計期間末において168名（前年同期比12.0%増）、「Goodpatch Anywhere」の所属デザイナー数は664名（前年同期比5.4%増、うち稼働デザイナー数は58名、前年同期比3.3%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるデザインパートナー事業の外部顧客への売上高は3,553,266千円（前年同期比0.3%増）、営業利益は379,661千円（前年同期比29.5%減）となりました。

(デザインパートナー事業のKPI推移)

	2025年8月期				2026年8月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	前年同期比
顧客社数 (社)	60.7	61.0	63.7	62.7	63.0	64.3	64.7	1.6%
月額平均顧客単価 (千円)	5,868	6,221	6,322	5,887	5,860	6,364	5,821	△7.9%

② デザインプラットフォーム事業

デザインプラットフォーム事業は、主要事業であるデザインパートナー事業の周辺領域において、人材及びソフトウェア分野を深耕し、事業全体の拡大をサポートしております。具体的には、デザイナー向けキャリア支援サービス「ReDesigner」やオンラインホワイトボードツール「Strap」で構成され、各サービス間のシナジー創出を図ることで、デザイン関連ビジネスの拡大に取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間において、「ReDesigner」では、ダイレトリクルーティング機能の強化を通じて、キャリア志向のデザイナーと採用企業とのマッチング精度を高め、プラットフォームの拡大に取り組んでおります。ダイレトリクルーティングが引き続き順調に伸長したものの、人材紹介事業の売上が減少しました。また、「Strap」では、顧客企業の課題に対し、AIソリューションの提供及び業務プロセスの改善提案を推進した結果、既存顧客との契約拡張及び新規契約の獲得を達成しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるデザインプラットフォーム事業の外部顧客への売上高は294,508千円（前年同期比0.6%増）、営業損失は49,630千円（前年同期は29,053千円の営業損失）となりました。

- (注) 1. デジタルトランスフォーメーション (DX) とは、Digital Transformationの略語で、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること、を意味します。
2. UI (User Interface/ユーザーインターフェース) とは、「ユーザーがPCやスマートフォン等のデバイスとやり取りをする際の入力や表示方法などの仕組み」を意味します。また、UX (User Experience/ユーザーエクスペリエンス) は「サービスなどによって得られるユーザー体験」のことを意味します。
3. 顧客社数とは、デザインパートナー事業において、当社グループとデザインプロジェクトを進めるために契約した顧客企業の社数を指しており、1か月にデザイン支援を提供した顧客社数の当該期間の平均値を示しています。
4. 月額平均顧客単価とは、四半期ごとの売上高を顧客社数で除した数値の平均値を示しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて182,106千円減少し、3,213,591千円となりました。主な要因は、前払費用の増加61,933千円、未収還付法人税等の増加24,151千円があった一方で、現金及び預金の減少141,153千円、売掛金及び契約資産の減少142,838千円があったこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて13,329千円増加し、1,863,058千円となりました。主な要因は、繰延税金資産の減少50,957千円及び償却に伴うのれんの減少35,600千円があった一方で、投資有価証券の増加102,343千円があったこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて168,777千円減少し、5,076,650千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ357,694千円減少し、598,762千円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少169,208千円、賞与引当金の減少95,810千円、未払消費税等の減少56,860千円及び借入金の返済による1年内返済予定の長期借入金の減少30,126千円があったこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ71,615千円減少し、72,178千円となりました。主な要因は、借入金の返済による長期借入金の減少73,400千円があったこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて429,309千円減少し、670,941千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ260,531千円増加し、4,405,709千円となりました。主な要因は、剰余金の配当による利益剰余金の減少87,337千円があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加284,352千円、その他有価証券評価差額金の増加57,146千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期通期の業績予想については、2025年10月15日の「2025年8月期通期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,733,133	2,591,980
売掛金及び契約資産	584,262	441,424
仕掛品	9,565	16,552
前払費用	55,483	117,416
未収還付法人税等	6	24,157
その他	13,247	22,192
貸倒引当金	-	△132
流動資産合計	3,395,698	3,213,591
固定資産		
有形固定資産		
建物	75,179	75,179
減価償却累計額	△42,101	△50,315
建物（純額）	33,078	24,863
工具、器具及び備品	59,906	61,565
減価償却累計額	△52,652	△54,991
工具、器具及び備品（純額）	7,254	6,574
リース資産	9,680	9,680
減価償却累計額	△1,152	△2,189
リース資産（純額）	8,527	7,490
有形固定資産合計	48,860	38,928
無形固定資産		
商標権	1,247	1,063
のれん	349,070	313,470
顧客関連資産	45,222	39,055
無形固定資産合計	395,540	353,589
投資その他の資産		
投資有価証券	1,310,160	1,412,503
敷金及び保証金	23,325	35,034
繰延税金資産	51,563	605
その他	20,279	22,398
投資その他の資産合計	1,405,328	1,470,541
固定資産合計	1,849,729	1,863,058
資産合計	5,245,428	5,076,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,609	93,807
1年内返済予定の長期借入金	130,423	100,297
未払金	142,063	128,112
未払費用	39,493	35,182
未払法人税等	219,888	50,679
未払消費税等	112,933	56,073
契約負債	61,599	77,093
リース債務	1,367	1,416
賞与引当金	100,347	4,536
預り金	48,730	51,003
その他	-	559
流動負債合計	956,456	598,762
固定負債		
長期借入金	108,426	35,026
リース債務	8,188	7,119
資産除去債務	11,608	11,620
繰延税金負債	15,570	18,411
固定負債合計	143,793	72,178
負債合計	1,100,250	670,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,774,543	1,774,568
資本剰余金	1,761,139	1,761,164
利益剰余金	821,244	1,018,259
自己株式	△250,168	△250,180
株主資本合計	4,106,759	4,303,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,192	72,339
為替換算調整勘定	△128	△127
その他の包括利益累計額合計	15,064	72,212
新株予約権	23,353	29,686
純資産合計	4,145,177	4,405,709
負債純資産合計	5,245,428	5,076,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	3,835,052	3,847,775
売上原価	1,621,875	1,687,238
売上総利益	2,213,177	2,160,537
販売費及び一般管理費	1,703,735	1,830,656
営業利益	509,442	329,881
営業外収益		
受取利息	1,665	2,667
受取配当金	10,033	94,821
持分法による投資利益	17,652	18,034
為替差益	174	386
その他	2,898	3,774
営業外収益合計	32,425	119,685
営業外費用		
支払利息	1,849	1,577
株式交付費	30	31
新株予約権発行費	552	552
投資事業組合運用損	3,450	8,946
支払手数料	1,317	-
その他	319	560
営業外費用合計	7,518	11,667
経常利益	534,349	437,899
特別利益		
投資有価証券売却益	-	5,002
関係会社清算益	971	-
新株予約権戻入益	6,837	775
特別利益合計	7,808	5,777
税金等調整前四半期純利益	542,157	443,676
法人税、住民税及び事業税	145,351	132,165
法人税等調整額	38,358	27,207
法人税等合計	183,710	159,373
四半期純利益	358,447	284,302
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,861	△50
親会社株主に帰属する四半期純利益	364,308	284,352

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	358,447	284,302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,191	57,146
為替換算調整勘定	2,971	0
その他の包括利益合計	9,163	57,147
四半期包括利益	367,610	341,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373,472	341,500
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,861	△50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

株主資本の著しい変動

当社は、2024年10月15日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式338,500株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が150,014千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が250,114千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	デザイン パートナー事業	デザイン プラット フォーム 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	3,542,168	292,884	3,835,052	—	3,835,052
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,542,168	292,884	3,835,052	—	3,835,052
セグメント利益 又は損失(△)	538,495	△29,053	509,442	—	509,442

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	デザイン パートナー事業	デザイン プラット フォーム 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	3,553,266	294,508	3,847,775	—	3,847,775
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	150	—	150	△150	—
計	3,553,416	294,508	3,847,925	△150	3,847,775
セグメント利益 又は損失(△)	379,661	△49,630	330,031	△150	329,881

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	14,339千円	18,528千円
のれんの償却額	48,883	53,600

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。